



一関遊水地視察

平成28年2月8日(月)に、平成27年度東北河川技術研修会が行われ東北6県の若手県職員らが一関遊水地を視察に訪れました。

一関出張所 齋藤所長より一関遊水地事業の経緯や一関管内の狭隘地区などについて航空写真を使って説明がありました。また、あいぽーと展望室では内水対策について説明がありました。

緯や一関管内の狭隘地区などについて航空写真を使って説明がありました。また、あいぽーと展望室では内水対策について説明がありました。



展望室での説明の様子



航空写真での説明の様子



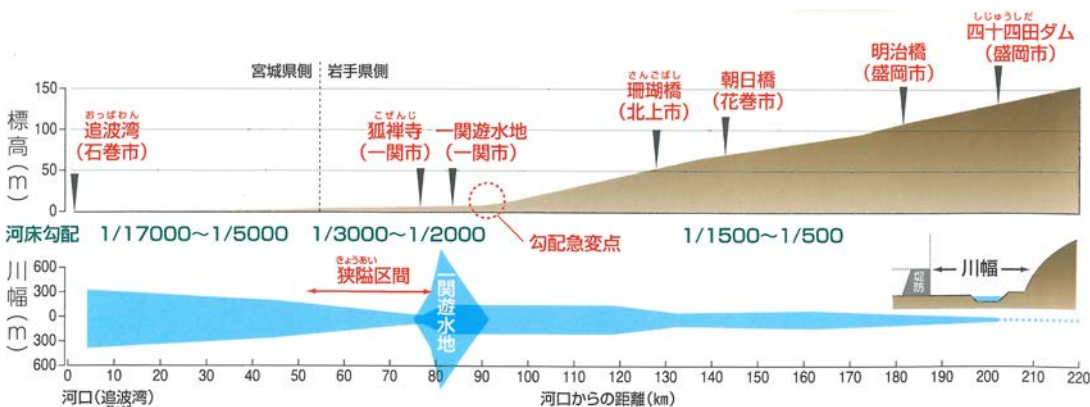
上記の記事で、齋藤所長が地形の特徴で「狭隘地区」についてふれていましたが、皆さんは「狭隘地区」って何か知っていますか？

狭隘地区とは

兩岸を急峻な山々に囲まれた川幅の狭い地形のことをいい、この区間が一関遊水地下流から宮城県県境までの約26kmあります。



川幅は、最も狭いところで100m程度しかありません。また、一関遊水地下流から河口までの距離は80kmもあるのに対し、その間の高低差は10mしかなく川の勾配が緩やかになり、上流からの水を流しきれないため、洪水の常襲地帯となっています。



◆編集後記◆先日、約3年ぶりにスノーボードをしました。最初は何度か転びましたが、滑っているうちに感覚がもどき転ばずに滑ることができました。久しぶりの雪山は楽しかったです。(Y)